

クリニックレター 2024年12月

〒663-8113 西宮市甲子園口2-8-31 医療法人岐黄会西本クリニック
TEL:0798-65-5111 FAX:0798-65-5115 HP: <http://www.nishimotoclinic.jp/>

このクリニックレターは、西本クリニックから患者様への情報を、すばやく、わかりやすくお伝えするためのお手紙です。原則月1回の発行で、スタッフが皆さんに知っていただきたい事をビビッドに発信していきます。

苦悩的情動から喜びの情動へ

この原稿を書いているのは、11月27日なのですが、ちょっと今、講演の準備で頭を悩ませています。実は昨日、診療の時間を少し削って、ポートアイランドにある兵庫医科大学薬学部で年1回の講義をしてきました。講義時間は90分で用意したスライドは120枚、普通にすべてを説明すると到底90分では終わりません。なので、話をしながら学生さんの反応をみて、あ、このレベルならこの辺のことは知ってるな、とか、この内容はすでに講義を受けてるな、というような部分は適当に説明を省き、ここは食いついてくるな、というところはしっかりと説明して、最後のスライドをきっちり90分で終わらせる、という、自分で言うのもなんですが(^^)ベテランの落語家の高座みたいな講義でした。でも、今準備している講演は、webでの講演で、しかもスライドに喋りを録音してきちんと80分で終わらせなければいけない、というものなのです。原稿を用意し、ストップウォッチで時間を計って内容を調節しながら録音する、という作業、根がずぼらな私には結構しんどい作業です・・・という皆様にはどうでもよい愚痴から入ってしまいましたが、今回のクリニックレターでは、認知症のお話を少しだけしようと思います。

認知症は、従来、記憶障害=認知機能低下を「中核症状」、認知機能の低下のため情動機能のコントロールが利かなくなっておこる精神行動異常(BPSD)を「周辺症状」とされ、従来の「認知症薬」は、この「中核症状」をいかに改善できるか、が評価の対象でした。しかし、この中核症状を対象とした薬剤は、本人や周囲が期待できるほどの効果がなく(そりゃあそうです。例えばレベル8まで進行した記憶障害がレベル6まで改善すれば医学的には素晴らしい効果ですが、周りにとってはそれほど恩恵があるとは思えません)、一方、BPSDの、怒りや暴言、暴力といった苦悩的情動(Neuropsychiatric Inventory: NPI)が改善することは、患者本人の生活の質を上げるだけでなく周囲の介護負担を減らす事ができるため、社会的に重要な意味を持つと考えられます。そして、漢方薬の「抑肝散(ヨカガシ)」にNPIの改善効果があることは今や多くの人の知る所となっています。

一方、同じ情動でも喜びや笑いといった望ましい感情表現を示す指標にDEI(Delightful Emotional Index)があります。苦悩的情動が少なく、望ましい感情表現が多い人の場合、たとえ認知症が進んでいたとしても、毎日ニコニコして食事もおいしく食べられて、家族や周囲の看護者とも良好な関係が作れていれば、本人にとっても家族にとっても幸せな時間が得られます。実は、「加味帰脾湯(カチキ)



効果が確認されているのです。ちなみに抑肝散も加味帰脾湯も、認知症の患者さんだけでなく、日常普通に用いる漢方処方、加味帰脾湯は、ちょっとしたことでよくよしてしまったり動悸がしてきたりと、いわゆる胆が細いタイプに使われる処方です。エビデンスが全てとは言いませんが、このように漢方薬のエビデンスが構築されていくのは、私にとってもすごくうれしいことです。

月曜日の心療内科担当医が交替しました

12月より、新任の橋本亮医師が月曜心療内科外来を担当することになりました。

橋本先生からのメッセージ

西本クリニックに通院されている皆様、初めまして、医師の橋本亮と申します。この度ご縁をいただき、令和6年12月2日より月曜の心療内科外来枠で勤務させていただきますことになりました。月曜午後は西本先生の外来に陪席し、漢方の専攻医として研修を行う予定です。私は現在、堺市の精神科病院に常勤しておりますが、医師としては回り道の方で、医学部に入る前は、「人間とはなんぞや?」という動機から文学部で哲学や倫理学を学んでいました。医学に転向した後も、医学や病気よりも人間そのものに関心を抱いており、その中でとりわけ漢方の考え方に惹かれました。学生時代は、四診からその人の状態を把握し、その人に合った方剤を処方するというオーダーメイド医療の先駆けとして漢方に魅力を感じていました。医師となつてからは、西洋医学だけでは対処しきれない病態に漢方の発想で立ち向かう局面が増え、「漢方を正しく理解し使える医師になりたい」と決意し現在に至ります。プライベートでは、筋トレとマラソンを趣味にしており、今年の神戸マラソンにも出場しました。また、今年の8月に子どもが生まれたばかりで、育児にも悪戦苦闘しております。皆様の健康の維持、発展に少しでもお役に立ちできるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

橋本先生のプロフィール

2010年 大阪大学文学部卒業 2018年 旭川医科大学卒業
2018年 洛和会音羽病院初期研修医
2020年 杏和会阪南病院精神科専攻医

診察日変更及び年末年始の診療について

- 浅井医師(女性内科)の診察日を下記のように変更します。
12月28日(土)→12月26日(木・午前)
- 年内の診療は、12月30日(月)午前診までとさせていただきます。
年始は1月6日(月)より診療をおこないます。

ご予約はWEB予約が便利です!

携帯・パソコンからの診療予約が簡単になりました。右のQRコードを読み取っていただき、CLINICS電子カルテ予約用アプリをダウンロードしてご利用ください。また、CLINICSのアカウントを取得してCLINICS会員になりますと、検査結果など様々なデータを患者様とクリニックとで共有することが可能です。

